

日本がわかる、日本語がわかる

ベストセラーの書評エッセイ24

- i 刊行にあたって
- iv 本教材で取り扱う書籍一覧
- vii 本教材の特長と内容——日本での留学や就職に役立つ21世紀日本のことば・文化・社会
- x 各課の構成と使い方
- xiii 本教材の3つの活用手法——反転授業を取り入れたアクティブラーニング型授業実践の例
- xvi 凡例

1 ユニット 1 日本人と日本語

- 3 第1課 **レビュー書籍** 北原保雄 (編著)
『問題な日本語』〈シリーズ〉(2004-2011年、大修館書店)
- 本文** 単純には割り切れない、「正しい日本語」と「間違った日本語」
- コラム** おかしな若者言葉、おかしなビジネス会話
- 19 第2課 **レビュー書籍** 齋藤孝 (著)
『声に出して読みたい日本語』〈シリーズ〉(2001-2004年、草思社)
- 本文** 言葉を血肉化する「暗誦」の文化を取り戻すために
- コラム** 「腹で考える」ということ

33 ユニット 2 日本人と地震

- 35 第3課 **レビュー書籍** 小出浩章 (著)
『原発のウソ』(2011年、扶桑社)
- 中川恵一 (著)
『放射線医が語る被ばくと発がんの真実』(2012年、KKベストセラーズ)
- 藤沢数希 (著)
『「反原発」の不都合な真実』(2012年、新潮社)
- 東浩紀・津田大介ほか (著)
『思想地図β vol.2』(2011年、コンテクチュアズ)
- 本文** 地震と原発、そしてインターネット
- コラム** 災害時のデマと混乱

53 ユニット 3 日本人とビジネス

- 55 第4課 **レビュー書籍** 梅田望夫 (著)
『ウェブ進化論——本当の大変化はこれから始まる』(2006年、筑摩書房)
- 本文** 2000年代後半のウェブ社会の変化を見通した『ウェブ進化論』
- コラム** キュレーションの時代
- 69 第5課 **レビュー書籍** 岩崎夏海 (著)
『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』(2009年、ダイヤモンド社)
- 本文** 日本人が好きなピーター・ドラッカーの経営学を、女子高生が読み解く
- コラム** 日本のサラリーマンとビジネス書

85 ユニット 4 日本人と文学

87 第6課

レビュー書籍 村上春樹 (著)
『1Q84』〈シリーズ〉(2009-2010年、新潮社)

本文 「心を支配するもの」と向き合う村上春樹

コラム デタッチメント(関わりのなさ)からコミットメント(関わり)へ

105 第7課

レビュー書籍 水野敬也 (著)
『夢をかなえるゾウ』(2007年、飛鳥新社)

本文 自分を変えたいビジネスパーソンに送るメッセージ

コラム 自己啓発と自分探し

123 第8課

レビュー書籍 金原ひとみ (著) 綿矢りさ (著)
『蛇にピアス』(2004年、集英社) 『蹴りたい背中』(2003年、河出書房新社)

本文 孤独な都会の若者への励ましの小説

コラム 「言葉」と「感覚」

139 ユニット 5 日本人と哲学

141 第9課

レビュー書籍 マイケル・サンデル (著) 鬼澤忍 (訳)
『これからの「正義」の話をして——いまを生き延びるための哲学』(2010年、早川書房)

本文 「正義」とは何かを哲学的に考える

コラム サンデルの政治哲学と東日本大震災

157 ユニット 6 日本人と生活

159 第10課

レビュー書籍 三浦展 (著)
『下流社会——新たな階層集団の出現』(2005年、光文社)

本文 貧乏で無気力な若者たち

コラム 格差の遺伝?

173 第11課

レビュー書籍 中野独人 (著)
『電車男』(2003年、新潮社)

本文 インターネット掲示板が書籍に

コラム 日本最大の掲示板、2ちゃんねる

187 ユニット 7 日本人と読書

189 第12課

本文 日本人と読書——教養の崩壊と復活

コラム 電子書籍の現状と未来

205 参考文献

211 索引(語彙索引/文法索引/文化・社会キーワード索引)

【別冊】 解答